



**みんなで作ろう！セーフコミュニティちちぶ**

**自然の中での安全対策委員会事業報告**

**発表者：副委員長 大谷幾勇**  
**所 属：秩父観光協会**

# 対策委員会の構成

区分	団体・組織名	委員数
住民組織等 (6人)	町会長協議会	1名
	民生委員・児童委員協議会	1名
	農協	1名
	観光協会	1名
	体育協会	1名
	青少年育成協議会	1名
行政機関 (9人)	警察	1名
	消防	1名
	埼玉県 <b>New</b>	2名
	秩父市 (森づくり課、農政課、市民スポーツ課、 観光課、公募職員)	5名

# 対策委員会の経過

回数	開催日	主な会議内容
第16回 ～ 第26回	2016年5月～ 2019年6月	取組み①～⑥を協議 「取組みの充実・周知・新規」、「課題の整理と対策」、「成果と評価指標」、 「アンケート結果」、「連携強化と効果的な取組み」、「効果的な引継ぎ」 について
	2016年10月19日	★ S C 認証1周年記念イベント（箕輪町 S C 関係者による講演会と取組み報告）
	2017年11月25日	★市民安全・安心フォーラム2017inちちぶ（S C 認証2周年記念イベント） 市民啓発映画祭、記念鼎談、有識者による S C 分科会
	2018年5月 2019年5月	★ S C 講演会（新委員向け研修含む）
	2019年 2月 1日	★ S C 事業報告会
第27回	2019年 8月 6日	★ 「再認証事前審査報告内容の確認」について

# 秩父市のアウトレジャー

## ◆登山

写真①

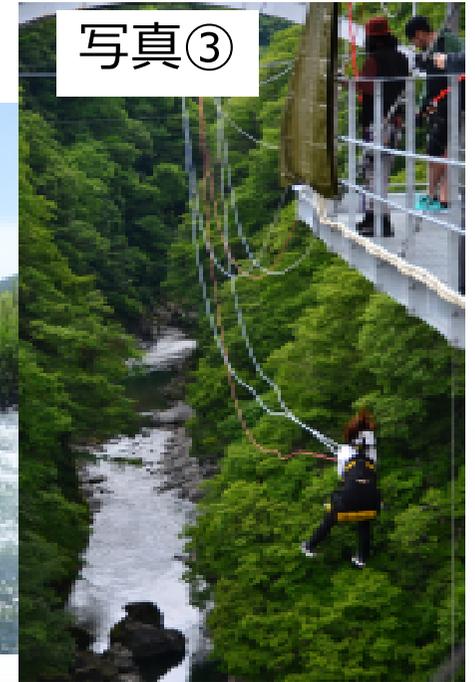


## ◆川遊び

写真②



写真③



## ◆サイクリング

写真④



## ◆BMX

写真⑤



# 設置の背景

## アウトドアレジャーでのケガ

図表 1

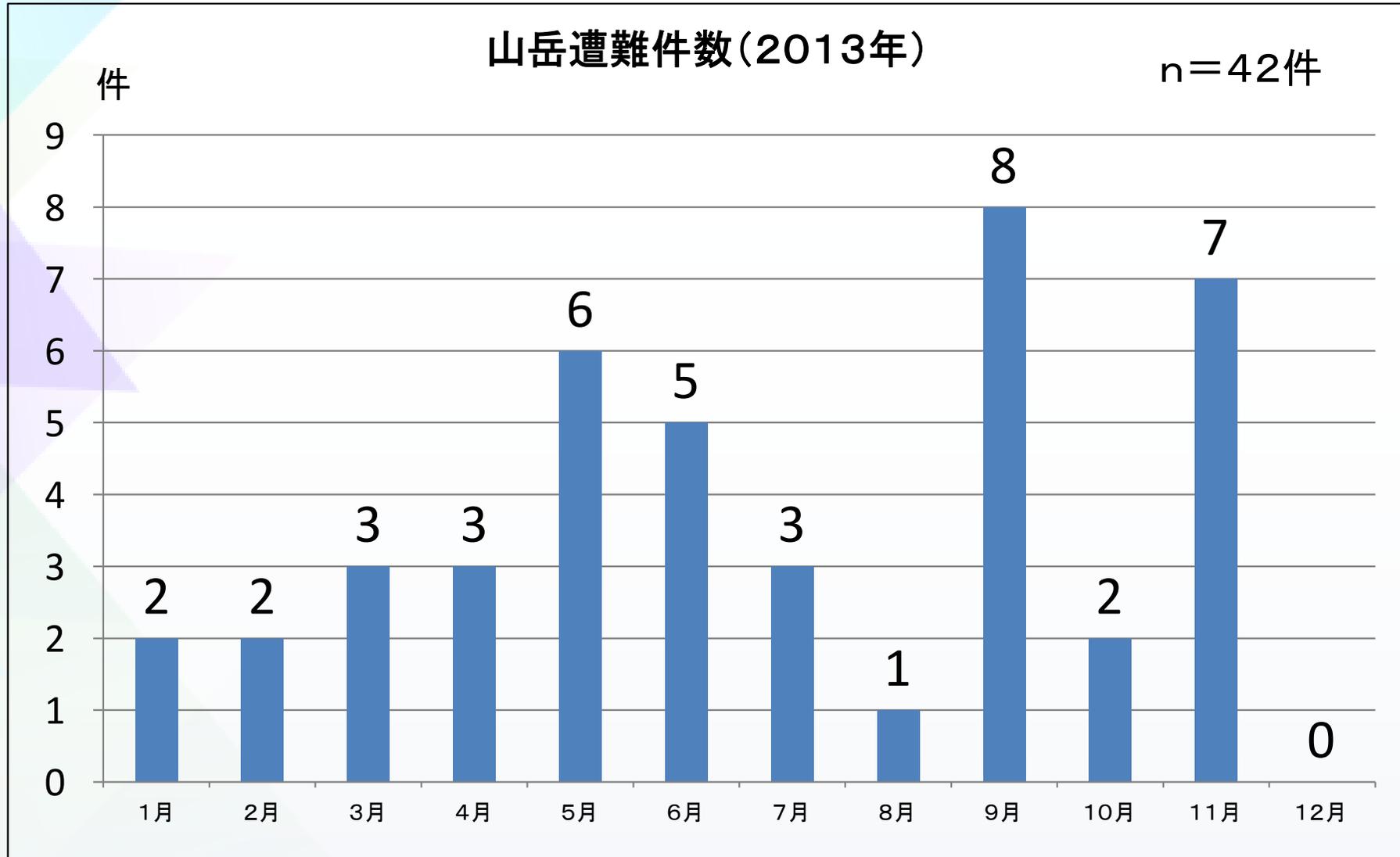
＜自然の中での外傷の状況＞

場 合	件 数	備 考
登山・ハイキング	67	
レジャーとしてのサイクリング	27	
公園内での活動	43	
農林作業中	35	うち18件が機械取扱い中
河原・沢での活動	36	うち釣りが13件
キャンプ	7	

# 安全課題①

図表2

## 山岳遭難発生件数



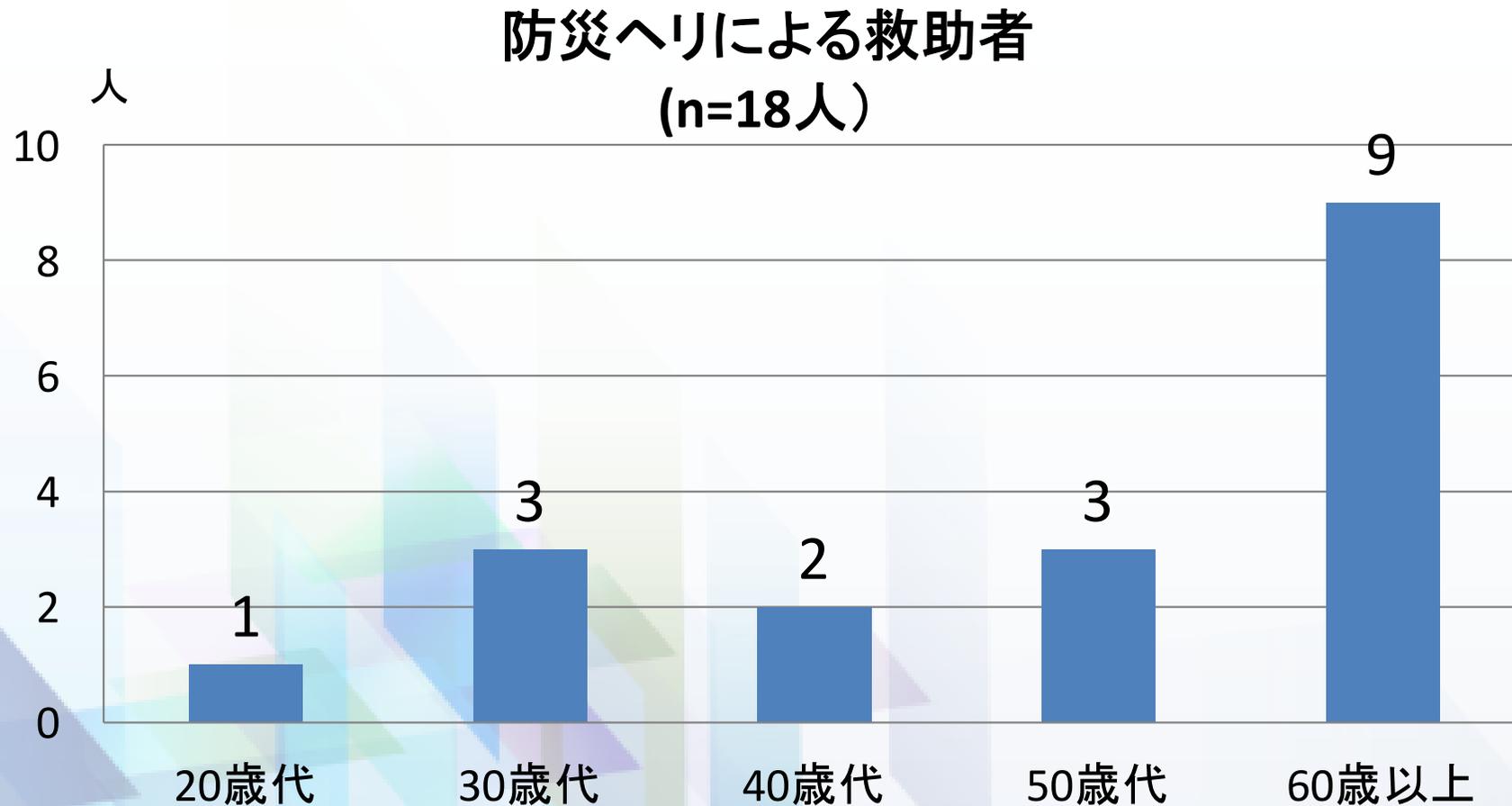
出典：秩父警察署山岳遭難データ（2013年）

# 安全課題②

図表3

## 防災ヘリコプターによる救助件数

- ・ 当市には、初級者から上級者まで楽しめる山がそろっている。
- ・ 2012年は18人が救助され、うち9人は、高齢者である。



出典：埼玉県防災航空センター(2012年)

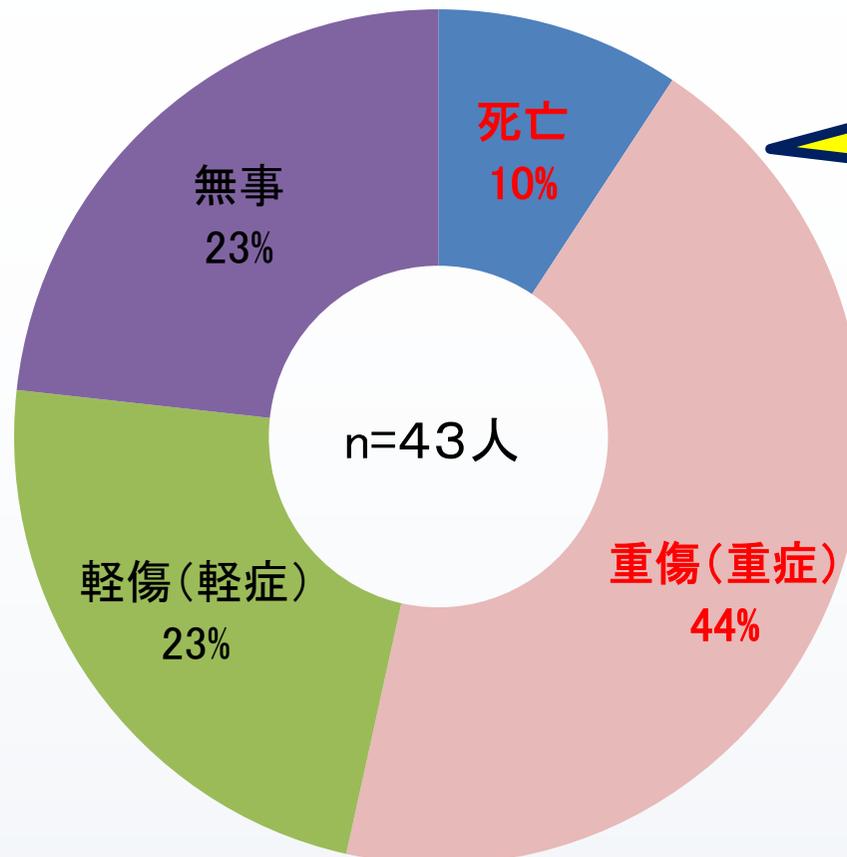
# 安全課題③

## 山岳遭難の状況

遭難者の負傷程度をみると、「死亡者」、「重傷者」の割合が5割以上を占めており、重篤な事故に至るケースが多い。

図表4

負傷程度別山岳遭難者数  
(2013年)



半分以上が  
重篤な事故

※このうち市外からの  
登山者は42人

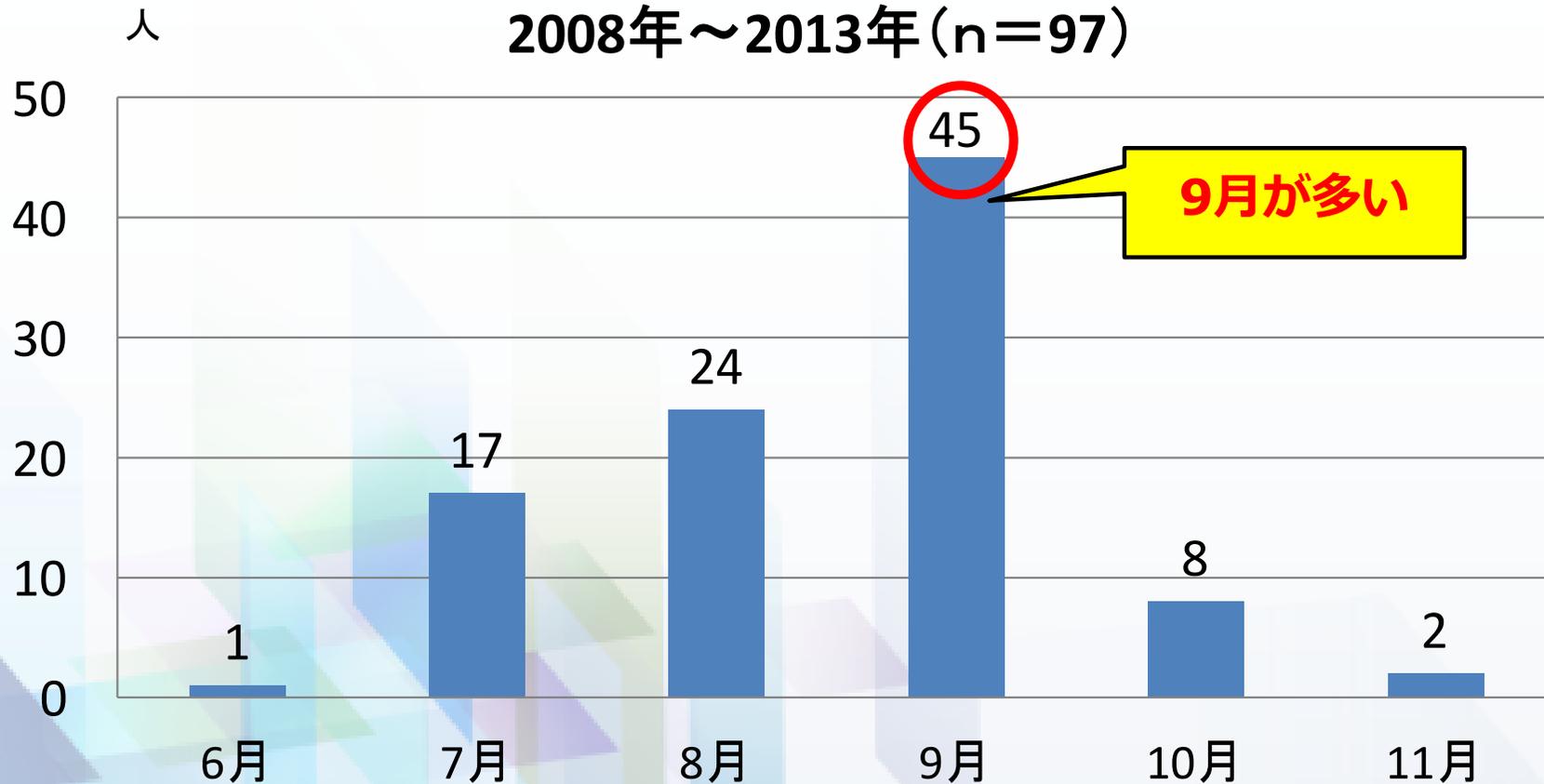
# 安全課題④

## ハチ刺されによる外傷は9月が多い

- ・ハチ刺され事故も数多く発生している。
- ・集団で刺されるケースもあり、夏～秋にかけて、特に9月に集中している。

図表5

ハチ刺されによる搬送件数(月別)  
2008年～2013年(n=97)



出典: 秩父消防本部救急搬送データ

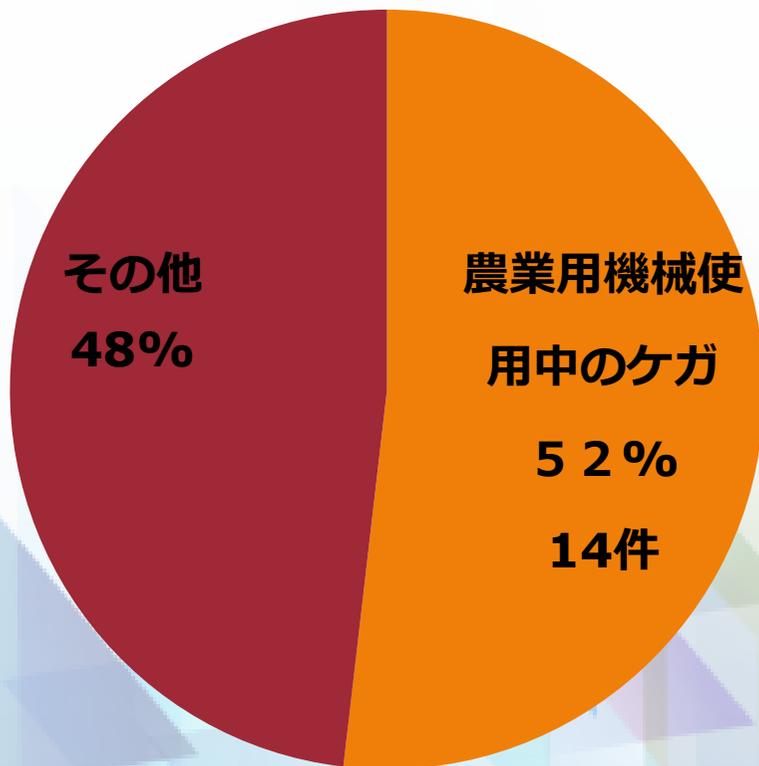
# 安全課題⑤

図表6

## 農作業による外傷の状況

- ・「農業用機械の使用」の事故が14件ある。
- ・14件中12件は「挟まれ・巻き込まれ」によるケガで、死亡に至る事故もある。

農作業中のケガ(n=27)



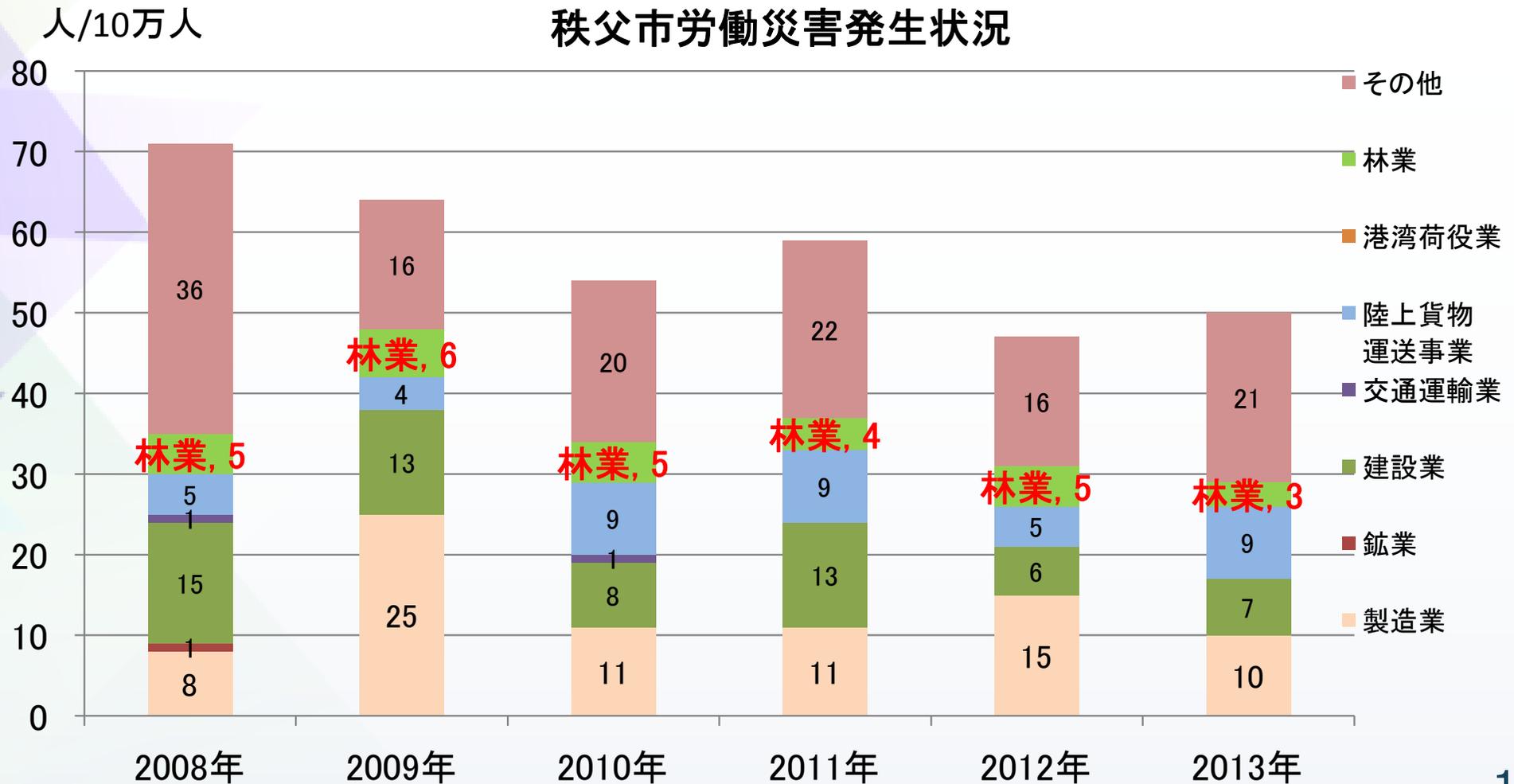
ケガの分類	件数	ケガの度合い
挟まれ・巻き込まれ	12	死亡1件 重傷2件 中傷4件 軽傷5件

# 安全課題⑥

図表7

## 労働災害データ

国の値に比べて林業作業中のケガが多く発生している。  
※国の林業における労働災害発生率は「2件／10万人」（2008年～2013年の平均値）

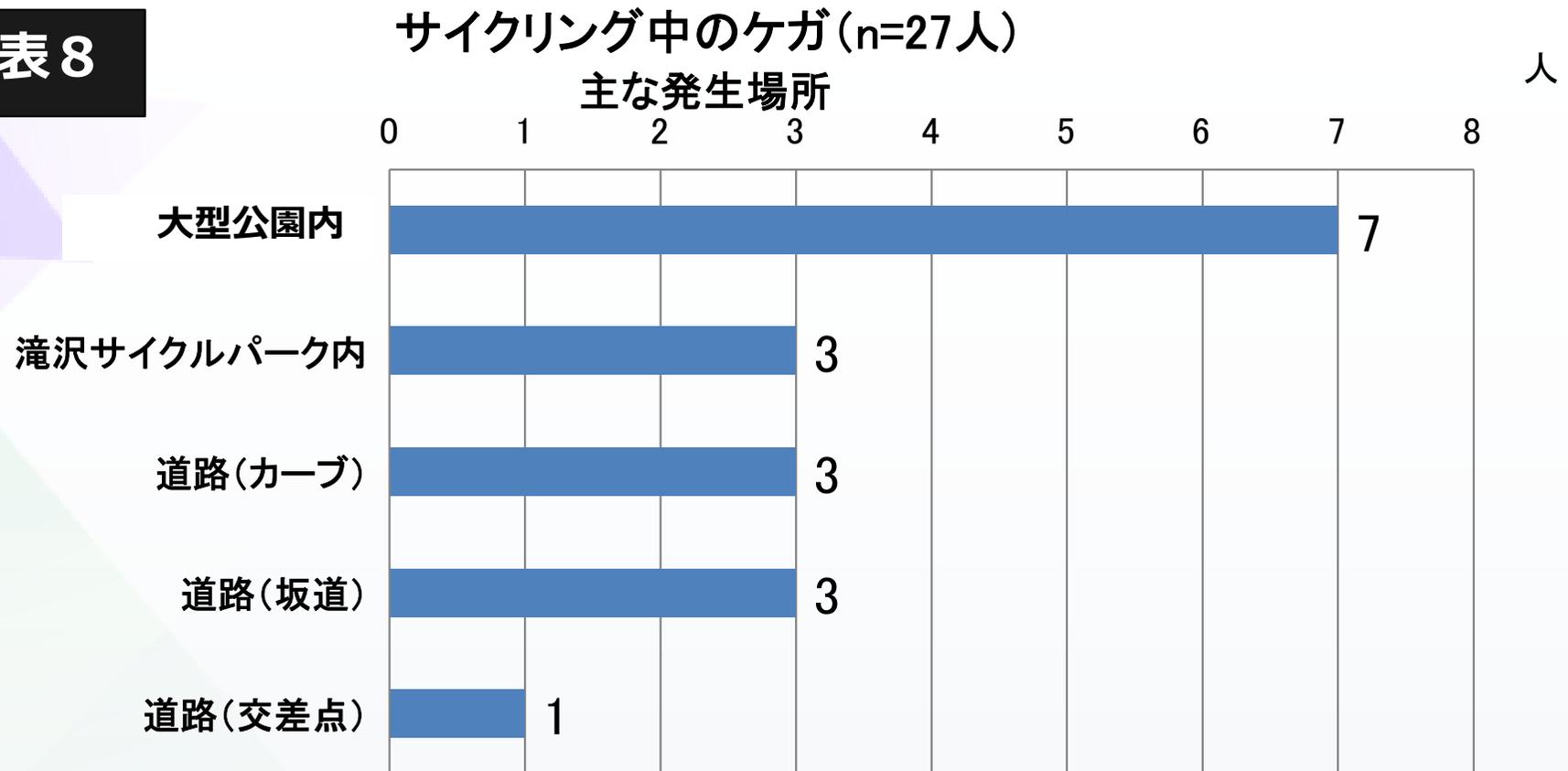


# 安全課題⑦

## サイクリング中の外傷の状況

- ・ レジャーとしてのサイクリング中におけるケガは27件あった。「大型公園内」がもっとも多い。

図表 8



# 課題の整理

図表 1

図表 2

図表 3

図表 4

図表 5

図表 6

図表 7

図表 8

課題 1 登山・ハイキング中の事故が多い。

課題 2 ハチ刺されによる事故が多い。

課題 3 農林作業中の事故が多い。

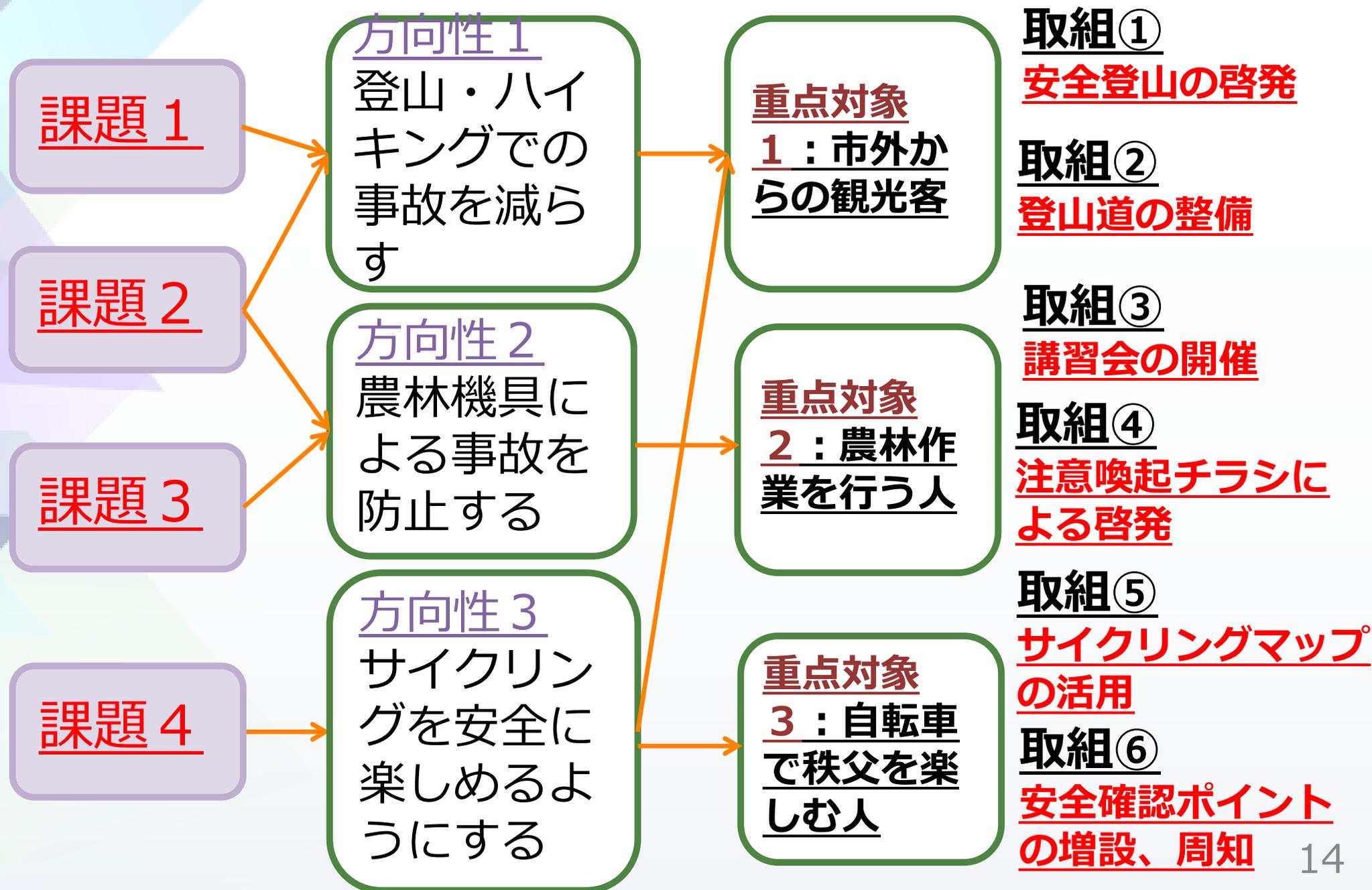
課題 4 レジャーとしてのサイクリングでの事故が多い。

方向性  
1

方向性  
2

方向性  
3

# 課題、方向性、重点対象、取組の整理



# 課題①②のレベル別の対策（主なもの）

課題	対策			
	方向性	国・県レベル	市レベル	地域レベル
課題①② (図表1,2,3,4,5)	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全登山の啓発</li> <li>・啓発リーフレットの配布</li> <li>・啓発キャンペーンの実施</li> <li>・ホームページで安全登山の啓発と登山届（オンライン登録）の推進</li> <li>・安全登山教室の開催</li> </ul>	<b>【市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全登山のキャンペーンの参加</li> <li>・ホームページで安全登山の啓発、登山届（オンライン登録）の推進、ハチ刺され注意の啓発</li> <li>・ハイキングマップの作成</li> </ul>	
	規制	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; background-color: yellow;"> <b>【対策委員会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み1：安全登山の啓発</li> <li>・取組み2：登山道の環境整備</li> </ul> </div>		
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登山ポストの増設</li> <li>・登山道の案内標識や注意喚起看板の設置</li> <li>・登山道、トイレ、避難小屋等の整備・管理</li> </ul>	<b>【市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登山道の案内標識や注意喚起看板の設置</li> <li>・登山道の整備</li> <li>・ハチの巣駆除の際の防護服と薬剤の貸し出し</li> </ul> <b>【地域】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登山道の草刈りなど</li> </ul>	

# 課題②③のレベル別の対策（主なもの）

課題	対策			
	方向性	国・県レベル	市レベル	地域レベル
課題③② (図表5, 6,7)	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国農作業安全確認運動</li> <li>・ホームページでの事故防止啓発</li> <li>・労働安全衛生規則</li> <li>・安全衛生特別教育規定</li> <li>・労働災害防止計画</li> </ul>	<b>【市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内での講習会の開催「ハチ刺されの注意喚起も実施」</li> <li>・市窓口での事故防止啓発チラシの配布</li> </ul>	
	規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働安全衛生法</li> </ul>	<b>【対策委員会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み3：安全講習会の開催</li> <li>・取組み4：チラシの配布</li> </ul>	
	環境整備			

# 課題④のレベル別の対策（主なもの）

課題	対策			
	方向性	国・県レベル	市レベル	地域レベル
課題④ (図表8)	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国交通安全運動</li> </ul>	<b>【市】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングマップの作成・配布</li> <li>・サイクルステーションの整備</li> </ul> <b>【地域】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルステーションでのヘルメットの貸し出し</li> </ul> <b>【対策委員会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み5：サイクリングマップの活用</li> <li>・取組み6：自転車安全ポイントの周知・増設</li> </ul>	
	規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路交通法</li> </ul>		
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車専用レーンの設置</li> <li>・標識、カーブミラー、ガードレール等設置</li> </ul>		

# 課題①～④に対する既存の取組み

## ◆登山道の整備(課題①)

写真①



写真②



写真③



## ◆農林機具講習会(課題③)

写真④



## ◆ヘルメット貸出(課題④)

写真⑤



# ①安全登山の啓発（継続）

課 題	①登山、ハイキング中の事故が多い ②ハチ刺されによる外傷が多い	
方向性	登山・ハイキングの事故防止	
内容等	【内 容】	登山の危険性や装備・携行品等について、注意を促すパンフレットを配布する。
	【対 象】	登山者
	【対策委員会の役割】	取組みへの支援 ①登山者の交通手段を利用したリーフレットの配布 ②街頭啓発キャンペーンの参加 ③市報、ホームページ、ハイキングマップ等による啓発
（短期） 意識・知識の変化	【指標】 キャンペーン実施回数、啓発チラシの配布数	【測定】 埼玉県消防・防災課提供データ
（中期） 態度・行動の変化	【指標】 登山の際に安全な計画を行っている人の割合	【測定】 アンケート調査
（長期） 状態・状況の変化	【指標】 登山中の遭難件数	【測定】 警察統計

# 取り組み1

## ■安全登山の啓発

写真⑥

西武秩父駅



写真⑦

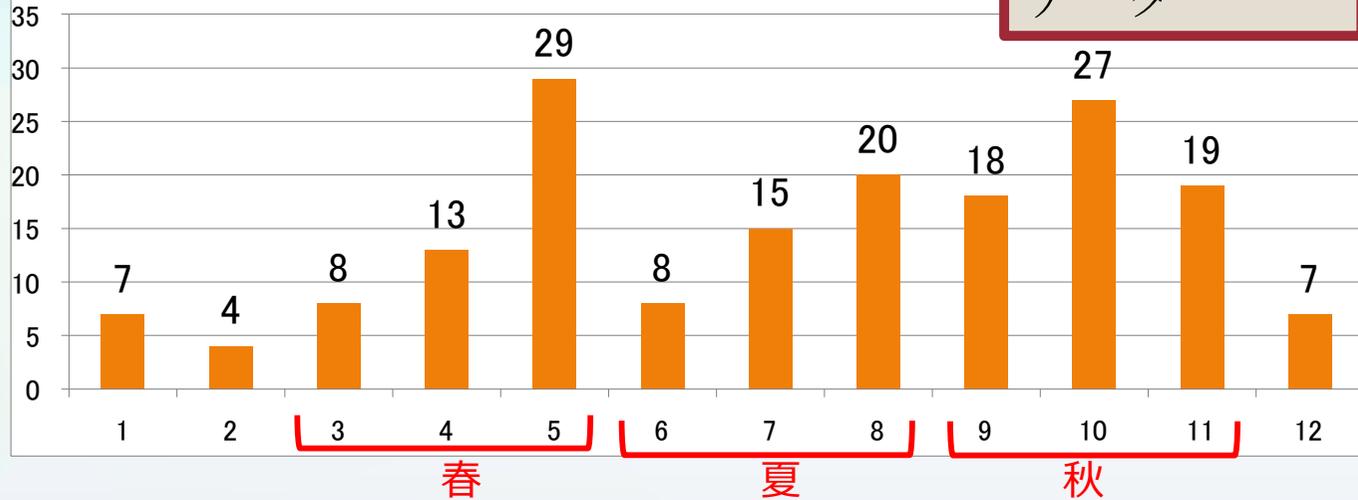
登山届を記載し提出



図表⑨

月別山岳遭難件数(2014~2018年)

秩父警察署  
データ



### SC認証後

- ① タクシー利用者へ啓発リーフレット配布。
- ② 関係団体で山岳情報を共有し、ホームページをリンク。
- ③ 委員自らもキャンペーンへ参加。
- ④ ハイキングマップに危険箇所を掲載
- ⑤ GPSと山岳ヘルメットの活用を呼びかける

# 短・中期評価（意識・行動の変化）

## ■キャンペーン実施回数、啓発チラシの配布数(短期評価) 図表⑩

年度	キャンペーン回数	リーフレット配布数
2015（認証）	2回（春・秋）	4,350枚
2016	3回（春・夏・秋）	6,500枚
2017	3回（春・夏・秋）	10,060枚
2018	3回（春・夏・秋）	16,378枚

データ：埼玉県消防・防災課

## ■登山の際に安全な計画を行っている人の割合(中期評価) 図表⑪

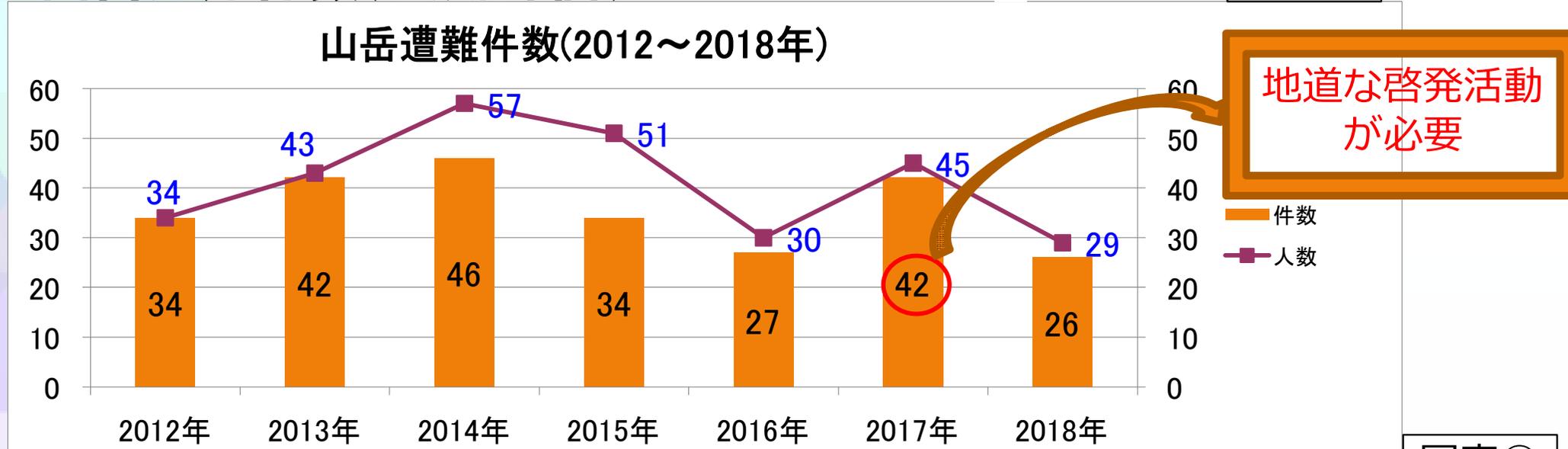
キャンペーン等での啓発リーフレットの配布	2019	2022
認知度	29% (n=1,041)	
安全な計画行っている人	36% (n=299)	認知度・割合の上昇を目指していく

データ：秩父市安全・安心なまちづくりに関するアンケート調査

# 長期評価（状況の変化）と現況

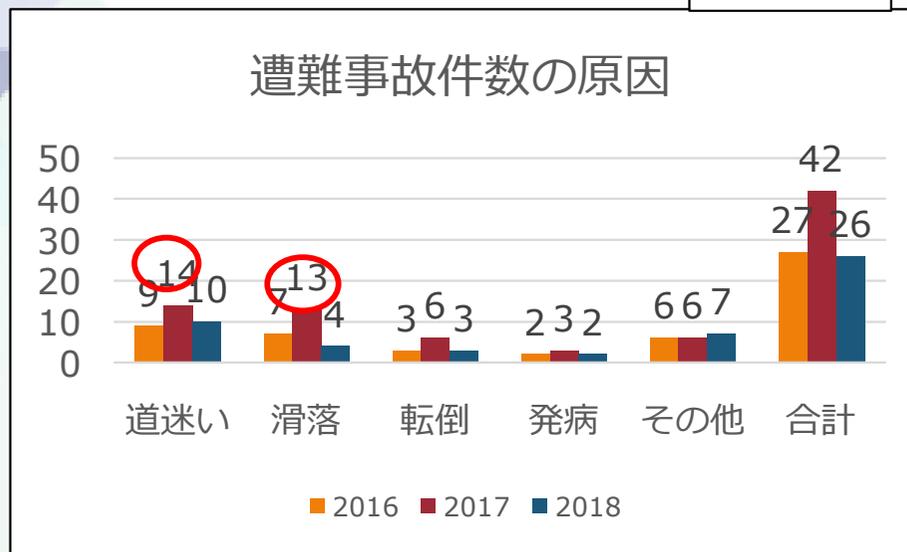
## 山岳遭難件数(長期評価)

図表⑫

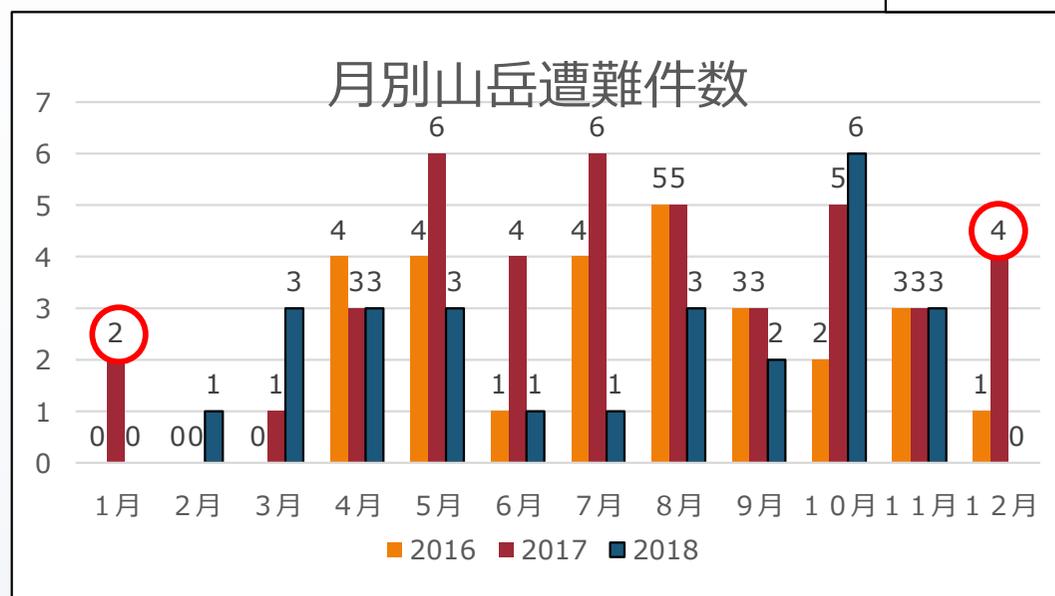


## 遭難データ

図表⑭



図表⑮



## ②登山道の環境整備（継続）

<b>課 題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登山、ハイキング中の事故が多い</li> <li>・ ハチ刺されによる外傷が多い</li> </ul>	
<b>方向性</b>	登山・ハイキングの事故防止	
<b>内容等</b>	<b>【内容】</b>	迷いやすい箇所には道標等を整備する。市内で遭難事故が最も多かった山を対象に、対策を実施。
	<b>【対象】</b>	登山者
	<b>【対策委員会の役割】</b>	<b>取組みへの支援</b> ① 遭難件数が多い山へ道標等の整備を依頼する ② 情報提供（山岳遭難データ） ③ 市報、ホームページ、ハイキングマップ等による啓発
<b>（短期） 意識・知識の変化</b>	<b>【指標】</b> 案内板等危険箇所整備数	<b>【測定】</b> 埼玉県秩父環境管理事務所データ、秩父市データ
<b>（中期） 態度・行動の変化</b>		
<b>（長期） 状態・状況の変化</b>	<b>【指標】</b> 整備した山での登山中の遭難件数	<b>【測定】</b> 警察統計